

## 【補助事業概要の広報資料】

補助事業番号 24 - 4 - 058  
補助事業名 平成24年度（復興支援）被災地域の調査活動補助事業  
補助事業者名 特定非営利活動法人キッズドア

### 1 補助事業の概要

#### (1) 事業の目的

東日本大震災から2年が経過し、キッズドアでは2011年4月11日より東北での子ども支援活動を継続しています。

多くのテレビや新聞では、被災体験を前向きに捉え、明るく頑張っている子どもたちの姿が取り上げられますが、そうではない子どもたちも未だたくさんいます。なかなか進まない復興に疲れ果てている保護者や、経済的な困難に直面しているご家庭も多く目にします。

現在日本では、保護者の経済状況により子どもの受ける教育に差が生じる「教育格差」や「貧困の連鎖」が問題になっており、被災地でも弊団体を始め複数の団体が教育支援等を実施しているが、十分に行き届かない状況で、このままだと「震災による教育格差および貧困の連鎖」が発生することが考えられます。

本事業では「東日本大震災による子どもの学習環境の変化とその影響」を調査することで、継続した支援の重要性を社会に報告し、社会全体で被災地の子どもの教育を支える支援体制を作る礎にしたいと考えています。

#### (2) 実施内容

##### ■被災地域の子どもに関するアンケートおよびインタビュー調査と報告書『東北の子どもたちに希望を 3.11から2年たった今、その影響と変化』作成

被災地域の子どもに関するアンケート調査は、キッズドアが支援をさせていただいているご家庭や、支援団体のネットワークにご協力を依頼して実施しました。被災者のご家庭や学校は、2年目に入り、長引く震災直後からの信頼関係から、アンケートにご返信いただくことができました。作成した報告書は行政や関係団体へ送付いたしました。

## ■調査報告会の開催

今年3月に東京と宮城県仙台市で今回の調査結果の報告会を開催した。報告会には各会場約20名の方が参加し、被災した方々が現在受験や進学、経済面で不安を覚えており、今後も就学援助や奨学金などの経済的支援と休日や放課後の学習支援を必要としている現実を皆さん真剣におききくださいました。



被災地域の子ども支援に関するニーズアンケート及びインタビュー調査をもとに完成した報告書『東北の子どもたちに希望を～3.11から2年たった今、その影響と変化～』

被災地域の子ども支援に関するインタビュー調査のヒアリング項目検討会議の様子

## 2 予想される事業実施効果

調査結果を公表し、社会の動きが一度に大きく変わるとは考えづらいため、今後の動向を見守る必要があります。しかしながら弊団体には今回の調査で作成した冊子に関する問い合わせが定期的に入ってきており、また弊団体で行っている被災者支援活動にご理解をいただいている企業の方などには興味深く今回の調査結果を受け取っていただけています。

加えて、信頼関係がなければなかなかアンケートの実施が難しい学校にも協力いただき、生の声を拾うことができ、報告書という形で調査結果を広く周知できることは大変意義深いとのコメントを関係団体の方からいただきました。

これらのことから今回の調査は、東日本大震災により被災した子どもたちへの支援を関係各所が継続的に行うことを検討する一助になると考えています。

3 本事業により作成した成果物等

- ・報告書『東北の子どもたちに希望を～3.11 から 2 年たった今、その影響と変化～』
- ・【実施報告】子どもの学習環境の変化と影響についての報告会～東日本大震災から 3 年目を迎えて～、特定非営利活動法人キッズドア、キッズドア“東北復興応援”サイト KIDS DOOR 復興 NET、<http://kidsdoor-fukko.net/?cat=26>

4 事業内容についての問い合わせ先

団体名： 特定非営利活動法人キッズドア

住 所： 〒103-0016 東京都中央区日本橋小網町 1-5 日本橋小網町ハイツ 304

代 表 者： 理事長 渡辺 由美子

電話番号： 03-6231-1029

F A X： 03-6862-6093

E - m a i l： [info@kidsdoor.net](mailto:info@kidsdoor.net)

U R L： <http://www.kidsdoor.net/>